

自立支援・重度化防止に資する 薬学的栄養ケアサポート

- ◆多職種協働による協議
- ◆自立を阻害する要因の追求
- ◆医療との連携
- ◆インフォーマルサービスの活用
- ◆地域課題発見・解決策の検討
- ◆参加者のOJT

～栄養ケアサポート薬局の活用～

自立支援・重度化防止に資する薬学的栄養ケアサポートとは…

■ 多職種協働による協議

栄養ケアサポート薬局による薬学的栄養ケアサポートは、高齢者の低栄養要因（薬の有害事象、潜在性疾患、口腔機能異常、精神的要因/認知症・鬱、社会的要因）を多職種協働で、探求し、食力の維持・改善策を講じ、高齢者の免疫力/抵抗力の向上に努めます。

■ 自立支援を阻害する要因を追求

自立支援に不可欠であるADL（日常生活動作）及びIADL（手段的日常生活動作）を阻害する要因に、身体機能と認知機能の低下と精神面・社会環境の影響があり、すべて「低栄養」と関連性があることから、低栄養要因を追求することが、自立支援を阻害する要因の追求となり、ADL・IADLの維持向上へとつながります。

■ 医療との連携

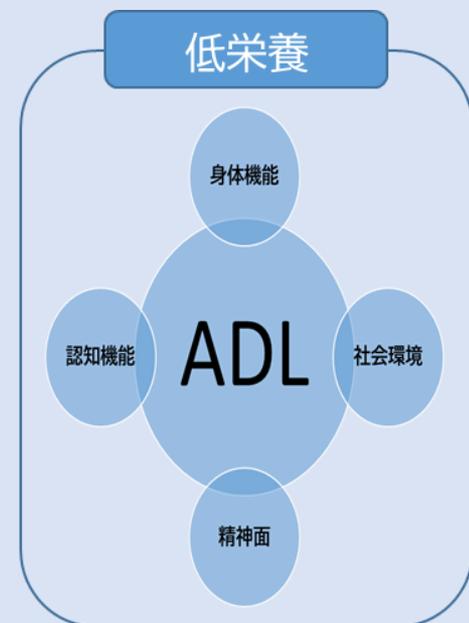
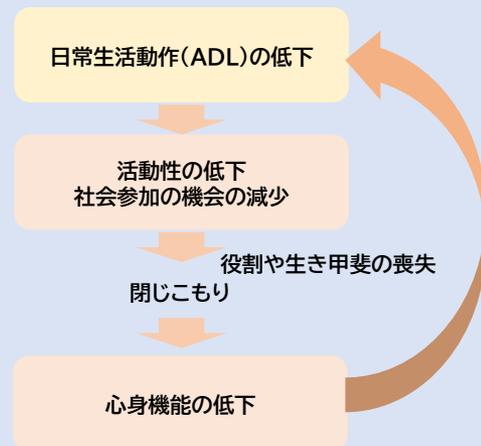
栄養ケアサポート薬局は、要支援・要介護状態の軽減又は悪化の防止に資するため、医療（病院・診療症・歯科診療所）と連携し、自立支援を阻害する要因（低栄養）を追求、改善に務めます。

■ インフォーマルサービスの活用

栄養ケアサポート薬局の薬学的栄養ケアサポートは、処方箋応需により薬局が担う「薬学管理」の一環で実施されますので、介護保険を適用しない「インフォーマルサービス」として、ご利用できます。また、薬学的栄養ケアサポート費用は、薬学管理指導料に包括しますので、新たな費用負担が発生しません。自立支援・重度化防止に資する究極のインフォーマルサービスと言えます。

■ 地域課題発見・解決策の検討

栄養ケアサポート薬局は、医療・福祉関係者のみならず、「低栄養予防（フレイル対策）」で、異業種（食品企業・量販店・小売店・コンビニエンスストア・商店街・食品卸・配食サービス・給食事業者・生産農家）と連携していますので、地域課題発見・解決策の検討時に機能します。



自立支援・重度化防止に資する“地域ケア会議”

☑ 要支援・要介護者を元気に！

介護保険の基本＝自立支援

地域ケア会議

市町村
(保険者) 地域包括支援センター



ケアプラン作成者 サービス事業者等

◆ 第二条第二項 介護保険

前項の保険給付は、要介護状態又は要支援状態の軽減又は悪化の防止に資するように行われるとともに、医療との連携に充分配慮して行わなければならない。

◆ 第四条 国民の努力及び義務

国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする。

医療・リハ・栄養・口腔・薬剤等に関する専門職種

要支援

要介護



- ◆多職種協働による協議
- ◆**自立を阻害する要因の追求**
- ◆医療との連携
- ◆インフォーマルサービスの活用
- ◆地域課題発見・解決策の検討
- ◆参加者のOJT

ケアプランの実行・評価・見直し

高齢者のQOLの向上

具体的事例(地域ケア会議で検討したプラン)

利用者の状態 : 生活の不活化により**下肢機能の低下**が顕著(要支援2)
利用者の課題 : 入浴ができない(入浴できるようになる余地あり)
認定期間 : 6カ月

ケアマネが立てた目標

清潔の保持に努める
(安全に入浴する)

あいまいな目標
デイに行けば即達成
※代表的な目標例

サービス内容

デイサービスで週2回風呂に入る

6カ月後評価困難

問題点

デイサービスでは入浴できても
自宅では入浴できない

お世話なしには生活できない

見落とし多数!!



お世話型のケアマネジメント

- ・根本的な課題解決になっていない
- ・介護サービスが生活の不活化を助長→重症化の恐れ

ケア会議で修正した目標

具体的
6か月後評価が可能

6カ月後

自分で入浴することができる

ケア会議でのアドバイス(薬剤師・PT/OT/ST・歯科・栄養 等)

- ✓ デイサービスで下肢筋力の強化と入浴動作の訓練を行ってみては?
- ✓ 浴室の住宅改修や入浴補助用具の購入を検討しては?
- ✓ **低栄養では? BMIは? 食生活は?**
- ✓ **歯・口腔・嚥下の状態は?**
- ✓ **薬の有害事象(唾液分泌抑制・味覚/嗅覚異常・嘔気・食欲不振・悪心嘔吐)は?**

サービス内容の見直し

再アセスメント



自立支援型のケアマネジメント

根本的な原因に対するアプローチと、残存機能の維持・向上・悪化の防止

◆要介護度の改善 ◆自立した生活



「低栄養」状態とは？

体の中のエネルギーとタンパク質が欠乏した状態。気力や体力の衰えに加え、免疫機能の低下のリスクが高まり、ケガや病気の治りが遅くなったり、感染症などのリスクが高まります。



「低栄養」状態が招くサルコペニアに要注意！

「サルコペニア」とは？

加齢などによって筋肉量が減少する中で、栄養不足などが重なり全身の筋肉量・身体機能の低下が起こる症候群。介護要因となる「嚥下障害」や「寝たきり」の原因になることも。



自身の栄養状態・食事の状態を定期的にチェックすることがフレイル(虚弱)予防に重要

栄養ケアサポート薬局の多職種連携による低栄養予防

早期発見→早期介入

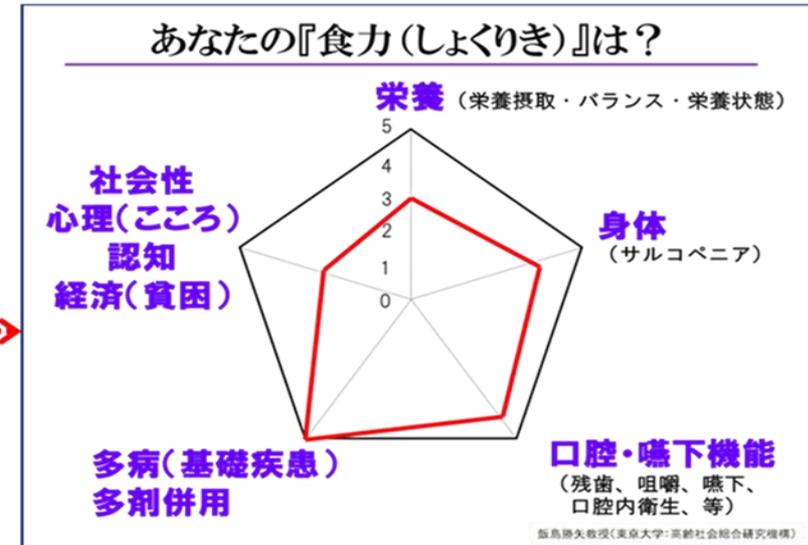
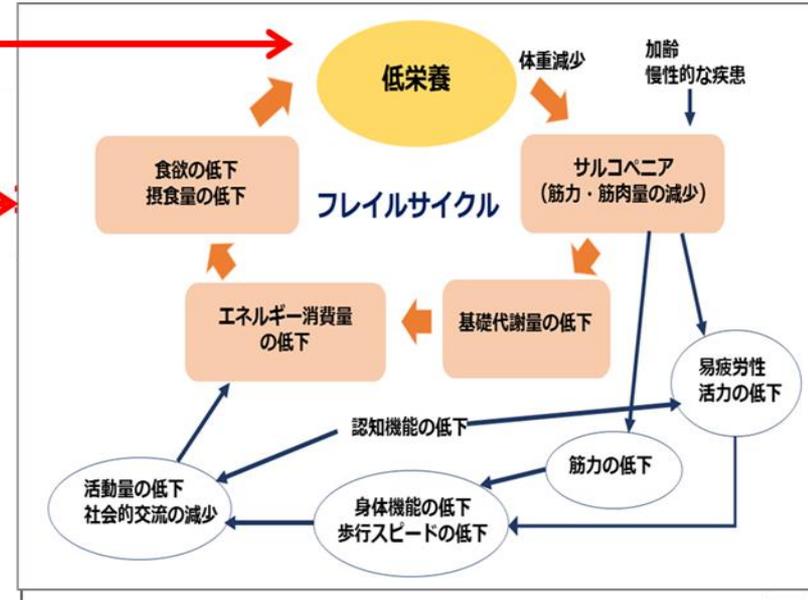
栄養ケアサポート薬局

食力の低下原因を探る



医師

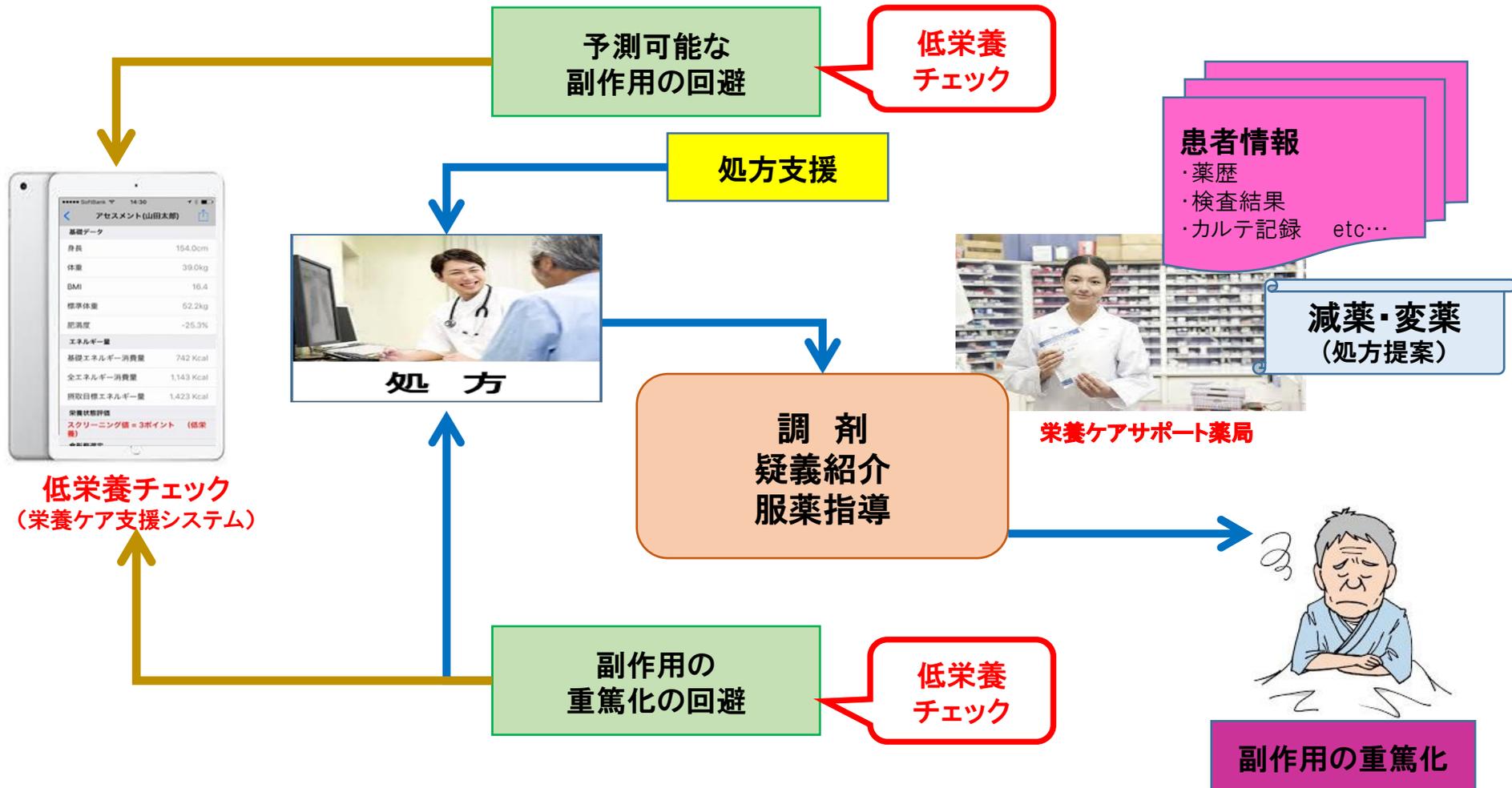
歯科医師



低栄養の要因となる 薬剤性有害事象を回避

栄養ケアサポート薬局は、薬学的ケアによる低栄養チェックを実践して、患者の不利益(副作用、相互作用、治療効果不十分など)を回避・軽減に努めます。
(高齢者の食欲不振/低栄養を惹起させる薬物療法を回避)

薬学的ケア(低栄養チェック)により、患者の不利益(副作用、相互作用、低栄養)を回避します





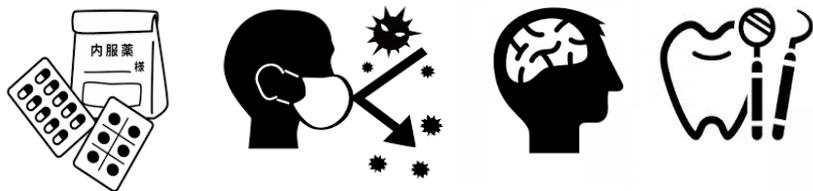
栄養ケアサポート薬局(薬剤師)

高齢者が低栄養になると、体力・免疫力・抵抗力が下がり、要介護リスクが高まります。

また、低栄養状態で、体操を行うと、サルコペニアを惹起し筋肉量が減弱する恐れがありますので、体操の前には、低栄養チェックして、低栄養リスクのある方は、低栄養要因を改善し、エネルギー・タンパク質をしっかり摂って、体操を行いましょう！

低栄養チェック

多職種による低栄養原因の探求→処置



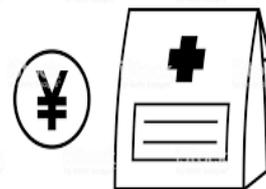
エネルギー・タンパク質の摂取



いきいき百歳体操



健康寿命の延伸

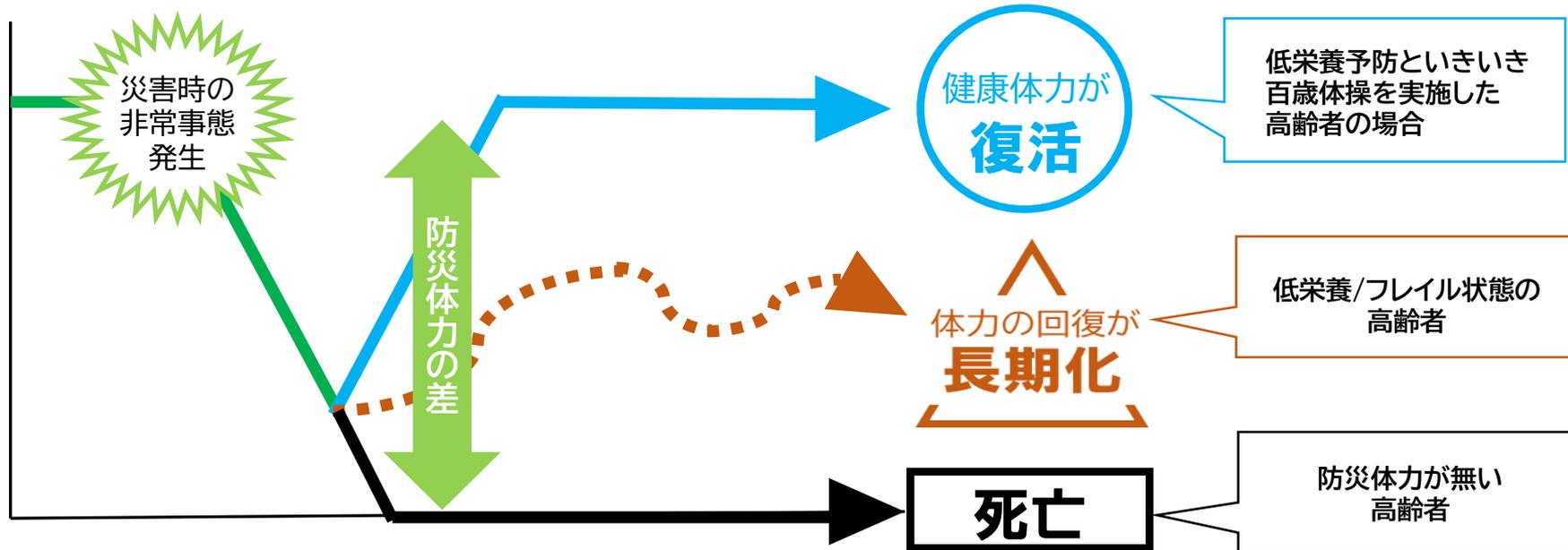


医療費適正化



農産品の消費拡大

低栄養予防で防災体力の向上をはかる



健康に不安を抱える方



栄養ケアサポート薬局は、全国各地の各自治体で活躍しています。

栄養ケアサポート薬局



健康相談センター

栄養ケアサポート
薬局

連携するコ・メディカル



医師



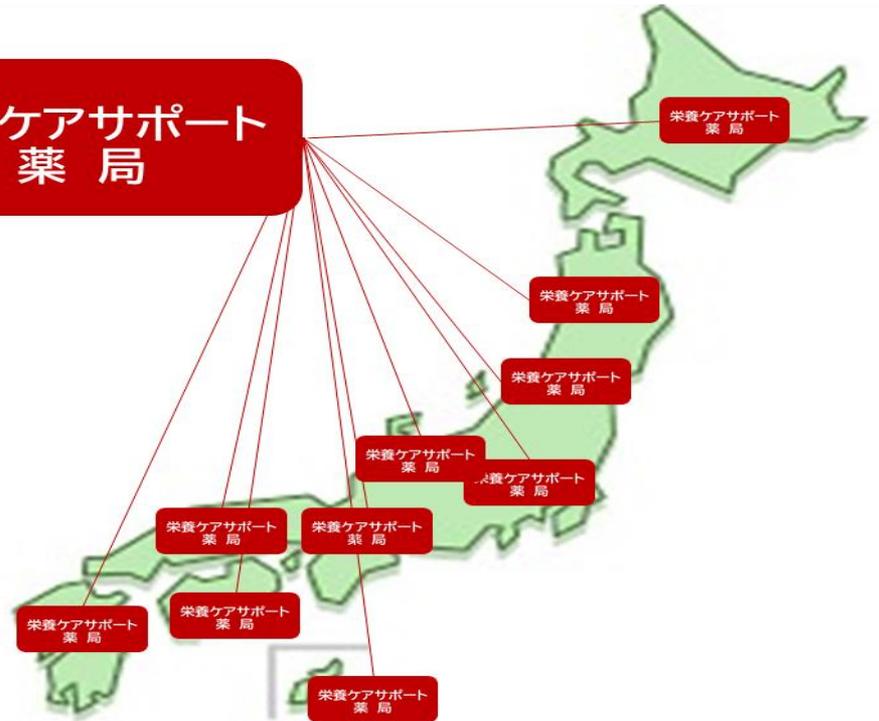
歯科医師



看護師



薬剤師



《栄養ケアサポート薬局の仲介・紹介に関するお問合せ》

一般社団法人在宅栄養ケア推進基金

☎088-802-5377 Fax088-821-9641